委員会レポート

総務委員会

公共施設更新問題

26年1月14日
神奈川県秦野市

本町においては、1958年建築の東浦中学校第2屋内運動場（通称飛翔館）をはじめ、役場庁舎など195の公共施設がある。これらの公共施設は、いずれ必ず更新、あるいは集約等の問題が起き、多額の資金が必要となることから、その手法や、再配置等の基本方針を学んだ。

・新規の公共施設は建設しない。

・現在ある公共施設の更新は優先順位をつけ、大幅に圧縮することを軸に進める。

あんしんAED ステーション24

26年1月15日
静岡県三島市

本町においては、公共施設のほとんどにAEDが設置され、誰でも使える状況であるが、24時間使用できるところは、まだ限られている。

三島市では、市内42カ所のコンビニに、三島市の負担でAEDを設置している。

設置方法は、本体、バッテリー、パッド、保険等を含めたリース契約で、契約期間は5年間だった。

今回の視察を参考に、本町においても、26年度からリース契約を採用することとなった。

議会広報特別委員会

26年1月23日
山梨県昭和町

例年、市町村議会広報コンクールにおいて優秀賞等を受賞し、全国的に高い評価を得ている。

一般質問は印刷業者がテープ起こしより要約、原稿作成。委員の任期は4年で「議会広報編集マニュアル」を作成し、編集に取り組んでいた。

①編集スタイルは広報型。（週刊誌型）

②活字は最小限に納め写真や余白を有効に使う。

③インパクトのある見出しを付け、表紙写真には子どもなどを載せ、親しみやすさを意識。

町民が興味を持つような紙面づくりへの努力をしている。

26年1月24日
山梨県市川三郷町

昨年10月町議会補欠選挙での新人議員2人も含め、主に1期目の議員で構成されていた。

一般質問原稿は担当委員が答弁書、テープ起こしを見て原稿を作成するなど、新人議員の負担は大きい。

議会広報モニター制度（2年任期）で読み手に配慮した改善をし、読みやすさ、見やすさの向上のため臨機応変に表現することを目指していた。

議会改革特別委員会

12月定例会で議決、設置された議会改革特別委員会は、閉会中に3回開催され、議員定数についての調査研究を行った。

意見の概要は次のとおり。

・24人から段階的に18人まで削減してきたが、議会は活性化していない。

・町村議会議員意識調査では定数削減の結果「議員が少ない」との回答が増加。定数削減の常用が続けば地域民主主義の危機にも直結するといわれている。

・定数について町民からの意見を聞く機会が必要。

・本町と同規模の財政力の自治体と比較すると議員一人当たり人口・面積ともにまだ議員定数削減の余地がある。

以上をもとに適正な議員定数を検討したところ、委員会としての方向性を見出すに至らなかった。

次回より政治倫理条例の調査研究を行う。

議員定数削減　18人から16人に

議会改革特別委員会での調査研究を経て、定例会最終日に議員発議により、定数を現在の18人から2人減の16人とする条例改正案が提出された。採決の結果、賛成多数で可決され、27年4月予定の次期改選時より議員定数は16人と決定した。